

平成 23 年 1 月 27 日

各 位

会 社 名 サイオステクノロジー株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 喜多 伸夫  
 (コード番号 3744 東証マザーズ)  
 問合せ先 執行役員(財務経理担当) 小林 徳太郎  
 電 話 0 3 - 6 8 6 0 - 5 1 0 5

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 7 月 27 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 22 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,000	△340	△340	△360	△4,152.06
今回修正予想 (B)	4,987	△283	△286	△312	△3,603.87
増減額 (B-A)	△12	56	53	47	—
増減率 (%)	△0.2	—	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 21 年 12 月期)	5,480	10	9	△33	△380.92

#### 2. 修正の理由

当連結会計年度における当社グループを取り巻く事業環境は、厳しい状況が継続しているものの、一部の企業におけるクラウドコンピューティング<sup>(\*)1</sup> (以下、クラウド) やオープンソースソフトウェア<sup>(\*)2</sup> (以下、OSS) を活用した情報化投資には、底堅い動きが見られました。

このような事業環境の下、「Red Hat Enterprise Linux」<sup>(\*)3</sup>等の他社製品・サービスは、想定を上回る見込みとなりました。また、OSS やクラウドを活用した受託開発についても着実に導入事例が増加し、想定を上回る見込みとなりました。一方、利益率の高い重点製品である「LifeKeeper」<sup>(\*)4</sup>は、前年を上回る推移となったものの、想定には届かない見込みとなりました。これらにより、売上高は 4,987 百万円 (前回公表予想比 0.2%減) に修正いたします。

売上原価や販売費及び一般管理費においては、クラウド分野への先行投資を進める一方で、既存事業でのコストが想定を下回ったため、営業利益以下の項目は各損失額が前回公表予想から縮小できる見込みとなりました。これらにより、営業損失は 283 百万円に、経常損失は 286 百万円に、当期純損失は 312 百万円にそれぞれ修正いたします。

- (※1) クラウドコンピューティング  
コンピュータ処理をネットワーク（通常はインターネット）経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。
- (※2) オープンソースソフトウェア（OSS）  
ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
- (※3) Red Hat Enterprise Linux  
世界をリードするオープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。
- (※4) LifeKeeper  
米国子会社SteelEye Technology, Inc.（現SIOS Technology Corp.）の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA（ハイアベイラビリティ）クラスターソフトウェア。

（注）上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。また、上記金額は百万円未満切捨てで表記しており、増減率は円単位で計算した後に小数点以下第2位四捨五入で表記しています。

以上